

2021年度 第1回 臨床教育研究懇談会

トランスジェンダーの「生」からみる共生の課題

—ある当事者のナラティブより—

日時:5月29日(土)11:00~12:30

講師:力身 菜利子 氏

(2020年度 臨床教育学研究科 修士課程修了)

会場:武庫川女子大学教育研究所棟 306 教室※

対象:臨床教育学研究科院生・修了生・一般

※修了生、一般の方はオンラインでの参加となります。タイトルに「臨床懇申し込み」、本文に氏名、修了生又は一般を記入して rinkyu@mukogawa-u.ac.jp にお申し込みください。参加方法をお知らせします。

内容の紹介

力身さんは、近年セクシュアルマイノリティに関心を持たれている中、対象としたイベントでは入場や参加に関して議論が起きている実態について、トランスジェンダーを取り巻く環境が改善されているとは言い難いと考えられたことが研究の背景と動機になりました。

小学生の頃から理解のない人々からいじめや嫌がらせを受け、家庭内でも自分の立場を模索し、居場所を探してきた当事者のナラティブをもとに、自身のセクシュアリティとどのように向き合ってきたのか、また周囲のセクシュアルマイノリティからの対応についての思いを、これまでの経験やことばをもとに理解し、さまざまなセクシュアルマイノリティの共生を可能にするために必要なことを研究されました。

力身さんは、本来の研究の目的よりも大切なことを研究で学んだと話しています。トランスジェンダーにとって「性」とは一言で「性別」ではない、と言うことを私たちは知っておかなければならない、と。

臨床教育研究懇談会(臨床懇)について

1994(平成6)年に大学院臨床教育学研究科修士課程が発足しました。翌年、1年生、2年生がそろった1995(平成7)年5月27日に第1回の臨床懇が開かれました。初年度は、教員、修士課程院生、現場の教師・研究者などが話題提供し、9回開かれています。院生自身が自分の問題意識を語ったり、研究者の報告を聴きながら、研究目的や方法を確かなものにしていく場として、臨床懇はあります。

今年度も、研究者、実践家、修了あるいは現役の院生の報告を予定しています。積極的にご参加ください。なお、院生の報告以外は公開として一般の方々も参加いただけます。

問い合わせ先:上田孝俊(☎0798-45-9866 ✉uedako@mukogawa-u.ac.jp)

高原ひろみ(☎0798-45-9913 ✉hi_taka@mukogawa-u.ac.jp)